



あおぞ

大江町立
本郷東小学校
学校だより
No. 7
令和4年 10月 27日

ドリーム・スクール・キャラバン 2022 「走力UP! 教室」

10月18日(火) 2~3校時に、4年以上の児童を対象とした上記の特別授業を行いました。これは、全国で教室を行っているもので(協賛:ジブラルタ生命)、本校は今年度初めて当選し実施しました。とても人気の事業で、本年度実施予定県数は32県で、山形県内では2校が選ばれました。

当日は、プロスプリントコーチの荒川優(あらかわゆう)先生、アシスタントコーチ2名とスタッフ数名が来校し指導してくださいました。

初めに6年生の奥山颯斗(りくと)さん、鹿間廉(れん)さんが、荒川コーチと30mを走り、目の前でプロの速さを実感しました。その後、全員が30m走のタイム測定をしました。そして、いよいよ「走力UP! ドリル」の開始です。30分間の荒川コーチのオリジナルドリルです。その後、再度30m走のタイム測定をし、ドリルに取り組んだ成果を実感しました。驚いたことに、全員が1回目の記録を更新していたのです。1回目のときは、4秒台で走った児童はいなかったのですが、2回目には4秒台が3人もいました。自分の記録が縮んだことに、どの子どもも満面の笑みを浮かべて、とても喜んでいました。

それ以上に驚き、感動したのは、子どもたちの表情です。授業が始まる前は、「走るの嫌い」とか、「タイム取るの嫌だな」など、いやいや取り組んでいる子どもが多かったのです。それが、2回目のタイムを取る時には、みんな生き生きとしてスタートラインに立っているのです。それは、タイムを取るのが楽しみでたまらないという表情です。立つ姿も、走り方も、表情も1回目とはまるで別人のようでした。荒川コーチが「もう1回走りたい人?」と聞くと、ほとんどの子どもが勢いよく手を挙げました。

最後に、荒川コーチが、「みんなは、初めタイムを縮めるなんて無理だと思っていたけれど、みんなはそれをやり遂げることができた。自分で無理だと決めつけなくて、自分の力を信じるのが大事。」という話をしてくださいました。子どもたちが「やればできる」と実感した後にお聞きした話は、きっと一人一人に深く印象付けられたのではないかと思います。

【校長 鈴木智香子】

